

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
英語	2 単位 進学と留学	英語学	前田 浩	2 年次	秋

授業のキーワード	英語の言語学、法則性・規則性、形式と意味
授業の概要	「英語学」は簡単に言うと「英語の言語学」という意味で、英語では English Linguistics と言います。一見すると何の規則性・法則性もないように思われるさまざまな英語の言語現象に対して、規則性・法則性を発見し、何故そうなるのか明確な説明を与えることを目的とします。その過程を通じて、英語という言語のよりよい理解が得られます。時間の関係で「英文法 1、2」では扱えなかった現象を扱いますので、英文法の知識を完全なものにしたい学生は是非受講してください。
期待される学習成果（目標）	1. 英語に関する深い洞察力が身につきます。 2. 四年制大学で勉学を続けて行くための論理的思考力が身につきます。

## 授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	イントロダクション	講義内容、評価方法、約束事の詳細について説明します。	第 9 講	能動態と受動態	能動態と受動態の選択原理について考察します。
第 2 講	音声と綴り字	音声と綴り字の関係について考察します。	第 10 講	比較構文	さまざまな比較構文の形式と意味について考察します。
第 3 講	音声と綴り字	音声と綴り字の関係について考察します。	第 11 講	比較構文	さまざまな比較構文の形式と意味について考察します。
第 4 講	強勢	複合語の強勢について考察します。	第 12 講	比較構文	さまざまな比較構文の形式と意味について考察します。
第 5 講	情報構造	情報構造の原則について考察します。	第 13 講	比較構文	さまざまな比較構文の形式と意味について考察します。
第 6 講	情報構造.	情報構造の原則について考察します。	第 14 講	関係代名詞の省略	関係代名詞の省略の原理について考察します。
第 7 講	情報構造.	情報構造の原則について考察します。	第 15 講	否定語の作用域	否定語 not の作用域について考察します。
第 8 講	能動態と受動態	能動態と受動態の選択原理について考察します。	定期試験		筆記試験を実施します。授業の内容から出題しますが、応用問題も含まれます。
評価方法		定期試験 100%			
	使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献	
	オリジナルのプリントを使用します。			必要な場合は講義時に紹介します。	